

光村グラフィック・ギャラリー企画展開催のご案内

美術家、曾谷朝絵の絵画とインスタレーションによる展覧会

曾谷朝絵展 “Topia”

Asae Soya Exhibition “Topia”

美術家、曾谷朝絵の展覧会を2022年10月7日(金)～11月5日(土)の期間、
光村グラフィック・ギャラリー(以下、MGG)にて開催いたします。



Title: Spring Burst
Size: 81 × 81 cm
Material: パネルに紙、水彩 / Year: 2021

千変万化の色と光の空間が、今秋MGGに出現

包み込まれるような光と色彩とダイナミックな造形感覚を併せ持つ美術家、曾谷朝絵。その活動は平面作品のみならず、色彩と空間が共鳴し合うインスタレーションや映像作品など幅広いジャンルに及んでいます。

会場では、日常の中に非日常を見出すような、洗面器や海などをモチーフとした長さ4mの大作を含む油彩画やパステル画、コロナ禍で都市に生い茂った雑草を描いた水彩画などの絵画群約30点に加え、曾谷のアイデアの源となっている色鉛筆によるドローイング約70点も展示します。

またギャラリーを取り囲む長さ約35mのガラス壁を使った、フィルムによるインスタレーションとその夜間ライトアップも行うなど、曾谷の多面的な作品世界を紹介します。

雑草の森や洗面器の中に見る海など、小さなものと大きなものをイマジネーションの力で繋ぐような作品群を通して、日常の輝きや人間の創造する力を感じ、光と色彩を浴びるような体験をしていただければと思います。

- 曾谷朝絵展 “Topia” に寄せて -

ここ数年の災厄のなかで、あと少し、あと少しでこのトンネルを抜けると思いながら皆が過ごしてきたと思うけれど、8月になった今も世界のざわざわは鳴り止まず、むしろ巨大になってきている。

だけど、実はそこかしこで日常は光を放っている。例えばコロナ禍で開発が止まった空き地に出現した雑草の森。洗面器の窪みの中の光と影の劇場。それらは別に私達のためにあるのではなく、私達がいなくなっても(というより植物なんかはむしろ人間がいなくなったほうが)生き生きと、平然とそこにあり続けるだろう。

でも一方で、その輝きは私達の心が作り出したものでもあるし、表現されないと永遠に忘れ去られてしまうものもある。辺りかまわず輝いている彼らは忘れられたって別に気にしないだろうけど、私は作品に捕えたいと思う。

ユートピアにもディストピアにもなり得るこの場所を、少しでも良い場所にするために。

曾谷 朝絵

この機会に、ぜひ本展の
掲載・取材の検討を
お願いいたします。

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

光村印刷株式会社 経営企画室 両角はるか

電話 03-3492-8689(光村印刷直通) / Fax 03-3492-4990

Mail 当社ホームページ(<https://www.mitsumura.co.jp/>)よりお問い合わせください。

MGG MITSUMURA
GRAPHIC
GALLERY

本展の見どころ

〈絵画〉

-日常の中に非日常を見出すような油彩やパステル画

ギャラリーに入ると、まず2.4 x 4mの巨大な油彩作品《fuwari》が目飛び込んできます。本作は曾谷のこれまで最大の作品で「コロナ禍での散歩中に出会った横浜の海」と「洗面器の中の水たまりの中に見出した海」が合わさって出来上がったものと言います。光のかたまりが波打ち、解体しながら浮かんでいるようなその作品は、最大のものを象徴する「海」と最小の日常を象徴する「洗面器」を繋ぐものとして、観るものを包み込むような光を放っています。その横には夜から朝までの様々な光の状態を描かれた洗面器をモチーフとしたパステル画《Washbowl》シリーズがまるで《fuwari》の衛星のように展示されます。他、窓から投影された光をモチーフとした油彩画なども展示され、宇宙や海という巨大なものと同様の物事が光と色彩でつながるような空間が出現します。



Title:fuwari
Size:240×400cm
Material:パネルに綿布、油彩
Year:2022



Title:Washbowl
Size:41×38cm
Material:紙にパステル
Year:2020

-コロナ禍で都市に生い茂るようになった雑草を描いたシリーズ

そこを抜けると、植物を色鮮やかな水彩で描いた作品群が展示されています。これらはすべて、コロナ禍で出現した都市の空き地に生い茂った雑草を描いたものです。

かねてより植物の構造や生命力の強さに「人間の創造力」との共通点を感じて描いてきた曾谷は、その雑草たちに「ひとたび人間の力が弱まれば、すぐにでも都市を征服してしまいそうな脅威的なパワー」を改めて感じたと言います。つまりこれらの作品は、どんな状況でも消えない人間の創造力を、都市の隙を突いて生い茂る植物に準えて描いたものでもあります。

まるでスターの全身写真のように、人間の等身大ほどの画面に描かれた作品《Blow》《Shower》や、まるで宇宙を漂う色彩の森を覗き込んだような円形の作品《Spring Burst》、そして新たな展開である風が吹き抜ける森を描いた作品などが展示され、光と色彩に満ちた植物の楽園のような空間が出現します。



Title:Shower
Size:162×97cm
Material:パネルに紙、水彩/ Year:2022

-曾谷のアイディアの源となっている、色鉛筆によるドローイング作品約70枚

今回、曾谷のアイディアの源となっている色鉛筆によるドローイング作品約70枚も展示し、その創作のプロセスを楽しんでいただけます。



Title:Topia
Size:21×29.7cm / Material:紙に色鉛筆
Year:2021

〈インスタレーション〉

-ギャラリーの外壁を囲むガラスウィンドウにカットニングシート作品

長さ約35メートルのガラスウィンドウを彩るのは、曾谷の持つ色と音の共感覚をモチーフにした作品です。光により色が変わる虹色のフィルムで作った水の波紋の形のオブジェクトを貼って、光と水の光景をつくり出します。昼は太陽光の変化で刻々と表情が変わり、夜は照明演出でギャラリーの外にまで光の形が溢れ出します。昼と夜とで表情が変わる、光の反射や透過が映し出す色彩豊かな波紋の中で遊ぶような体験をしていただけます。



Title:鳴る色
Size:サイズ可変 / Material:ガラス壁にフィルム
Location:JR新山口駅 / Year:2021
Photo:Satoru EMOTO,SARUTO Inc.

プロフィール / 展覧会概要

曾谷朝絵 Asae Soya



美術家。絵画とインスタレーションの両面で制作を続けている。光と色彩に満ちあふれたその作品は、観る者の視覚を越えて身体感覚を呼び起こす。2006年東京藝術大学大学院博士後期課程美術研究科油画専攻にて博士号(美術)取得。2001年「昭和シェル石油現代美術賞」グランプリ、2002年「VOCA展2002」VOCA賞(グランプリ)、2013年「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」、「神奈川文化賞未来賞」他、受賞多数。2013年に水戸芸術館にて個展「曾谷朝絵展 宙色(そらいろ)」を、2022年にスパイラルガーデンにて個展「曾谷朝絵展 とことこふわり」を開催するなど全国で発表多数。東京、ニューヨークや西安(中国)などで展覧会やパブリックアート制作。2014年文化庁在外研修員としてニューヨークに、2018年TOKAS 二国間交流事業派遣クリエイターとしてバーゼルに滞在。作品集「曾谷朝絵 宙色(そらいろ)」を青幻舎より刊行。
<http://www.morning-picture.com>

展覧会概要

○展覧会名：曾谷朝絵展 “Topia”

- ・会期：2022年10月7日(金)～11月5日(土)
日曜・祝日休館(10月9日、10日のみ開館)
12:00～19:00
※屋外展示は21:00まで照明が点灯されます
- ・会場：光村グラフィック・ギャラリー(MGG)
東京都品川区大崎1-15-9 光村ビル1F

- ・主催：光村印刷株式会社
- ・協力：株式会社中川ケミカル
萩原克奈恵(照明デザイン)
株式会社東京スタジオ
西村画廊

光村印刷創業120年を記念してスタートした当社アートカレンダー「現代の視点」シリーズの第2弾(2022年)は、美術家の曾谷朝絵です。そして、昨年に引き続きMGGでの企画展として、曾谷朝絵展 “Topia”の開催が実現しました。



新型コロナウイルス感染症対策に伴い、開催時の状況によって営業時間・運営方法・プログラム等が変更になる可能性があります。また、ご来場のお客様におかれましても、感染症防止対策にご協力をお願いしております。

〈イベント〉

ギャラリートーク

会場にて作家が作品を解説いたします。

合計6回の開催を予定しています。

諸般の事情で予定を変更することがありますので、最新情報は当社HP等をご確認ください。

※参加希望者が多い場合、人数制限する場合があります。

- 10月7日(金) ① 18:30～
- 10月8日(土) ② 15:00～ / ③ 18:00～
- 10月12日(水) ④ 18:30～
- 10月22日(土) ⑤ 15:00～ / ⑥ 18:00～

〈夜間ライトアップ〉

夜間は21時まで、長さ約35mのガラス壁を使ったインスタレーションのライトアップを行います。昼と夜とで全く異なる表情をお楽しみいただけます。

〈関連グッズ〉

曾谷朝絵の作品カタログ、アクリルキューブ「niji・iro」に加え本展オリジナルグッズ(ポスター、リーフレット、ポストカード、缶バッジ)などを会場にて販売します。

問い合わせ先

光村印刷株式会社 経営企画室 両角はるか

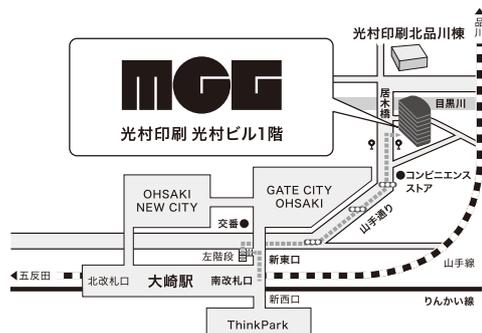
電話 03-3492-8689(光村印刷直通)

Fax 03-3492-4990

Mail 当社ホームページ

(<https://www.mitsumura.co.jp/>)

よりお問い合わせください。



- JR・りんかい線「大崎駅」南改札新東口より徒歩6分
- 東急バス(渋谷駅⇄大井町駅)「居木橋」前

広報用画像

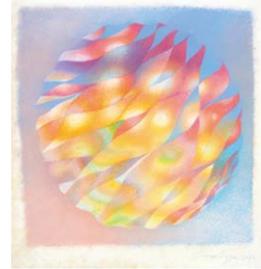
広報用の画像をご用意しております



01 Title:fuwari
Size:240×400cm / Material:パネルに綿布、油彩
Year:2022



02 Title:Washbowl
Size:41×38cm
Material:紙にパステル / Year:2021



03 Title:Washbowl
Size:41×38cm
Material:紙にパステル / Year:2020



04 Title:Spring Burst
Size:81×81cm
Material:パネルに紙、水彩 / Year:2021



05 Title:Bloom
Size:162×97cm
Material:パネルに紙、水彩 / Year:2022



06 Title:Blow
Size:162×97cm
Material:パネルに紙、水彩 / Year:2022



07 Title:Shower
Size:162×97cm
Material:パネルに紙、水彩 / Year:2022



08 Title:Topia
Size:21×29.7cm / Material:紙に色鉛筆
Year:2021



09 Title:鳴る色
Size:サイズ可変 / Material:ガラス壁にフィルム
Location:JR新山口駅 / Year:2021 / Photo:Satoru EMOTO,SARUTO Inc.



10 Title:鳴る色
Size:サイズ可変 / Material:ガラス壁にフィルム
Location:JR新山口駅 / Year:2021 / Photo:Satoru EMOTO,SARUTO Inc.

ご利用前に必ず
ご確認ください

- ・掲載の際は必ずクレジットの表記をお願いいたします。
- ・作品画像のトリミング、加工、文字載せ等をご遠慮ください。
- ・その他の作品画像をご希望の場合は、当社担当までご連絡ください。
- ・掲載をいただく際は、事前に原稿のご連絡をいただけますと幸いです。